

事務事業評価表 平成22年度

政策 環境と調和する都市の構築
 施策 水とみどりの保全と創出活用
 基本事業 水とみどりの創出活用

事業名 **花のある街並みづくり事業**

[0030]

部名	生活環境部	事業開始年度	平成9年度	実施計画事業認定	対象
課名	環境室環境課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) ・市民団体 ・小中学校
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 快適で美しい街並みづくりのため、花やみどりが学校や街並みのなかにある環境を市民協働で創出する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ・市民憲章推進協議会が進める自治会等を対象とする「花のある街並みづくり運動」を支援し、快適な街並みづくりを推進するため補助を行う。 ・小中学校に、花壇づくり等資材を提供する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市民団体数	団体	232	233	236	233
対象指標2	小中学校数	校	28	28	28	28
活動指標1	花のある街並みづくり参加市民団体の数	団体	106	107	106	107
活動指標2	助成花苗の数	株	81,849	81,677	83,381	83,500
成果指標1	活動団体数	団体	106	107	106	107
成果指標2	街並みを彩る実践を行う学校の数	校	28	28	28	28
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	2,650	2,680	2,705	2,755
正職員人件費 (B)		千円	2,512	2,507	2,904	2,915
総事業費 (A) + (B)		千円	5,162	5,187	5,609	5,670

費用内訳	
21年度	需用費 249千円、負担金 補助及び交付金 2,456千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	推進協議会は、市補助金と緑の募金を財源に事業運営をしているが、募金は市民、企業等から寄せられた善意によるもので、景気の低迷等により募金額が年々減少傾向にある。
--------	--	-------------	---

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

花のある街並みづくり運動は、市と市民が役割を果たしながら協働の理念に基づいた実践活動でありこの取り組みが、地域の緑への親しみにつながっており妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

市民の手によって地域が明るく快適な環境づくりをしていくことから貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

参加団体の取り組みにより地域コミュニティの形成と快適な街並み環境づくりが進んでいる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小 なし

理由・
根拠は？

花のある街並みづくり運動は、自治会、高齢者クラブ等が主体的に地域を良くしようとの取り組みを支援しているもので、自治会（171）等組織全ての取り組みではない。運動の啓発をしながら広がりができれば、参加団体数も増え成果が向上すると思われる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

市助成金及び緑の募金で運営しているもので、取り組む自治会も花苗代は約半分負担している。緑の募金は、市民、企業等の善意と理解によるもので、景気が厳しい状況では難しいが、自主的な活動が可能な事業や支援の方法について、協議していく。
また、一時的に事業費の増はあるが、将来の一年草幹旋株数抑制のため、宿根草の導入を計画する。